

令和元年度 小松幼稚園 学校関係者評価（自己評価書のご意見）

◎保護者会役員

A 評価は少ないものの D 評価がない事は素敵な事だと思います。C 評価になることは思っていることと保育した感じとのギャップが多かったからではないか。

◎うめ組

例年に比べて、異年齢交流する時間が増えた事で子どもが年下の子たちにずいぶんやさしく接したり、お世話したりと精神的にしっかりしたように感じました。異年齢のお友達もたくさんできたようで、とても喜んでいました。

◎ゆり組

〈子ども主体〉

カリキュラムの変更に伴い、新たな取り組みが感じられることもありました。ただ漠然と子ども達まかせにするのでは方向性を見失うと思いますが、選択肢や一例を示すなどで子ども達の主体性を育てて下さったのではと思います。評価にもありますが、消極的な子の主体性について来年度考えて頂ければありがたいです。個別性のあるご指導をよろしくお願いします。

〈環境整備〉

評価に共通してみられてのが「落ちついた空間がなかった」とのことですので、次年度は、どこか一空間でも子どもがゆっくりと本を読んだり気持ちを落ち着かせることのできる環境にしていだければと思います。階段の掲示板に子どもの作品が飾られていますが、もう少し頻繁に交換してもらえないでしょうか。子どもは自分の作品が飾られることをとても楽しみにしていると思いますし、そこから子ども同士や親子の会話が生れると思います。

〈異年齢交流〉

たてわりのクッキングは上の子にも下の子にも、とても有意義なものだったようです。下の子を思いやる、上の子に憧れる・・・など、まさに目的通りだったのではないのでしょうか。交流の機会がどの程度あったのかわかりませんが、どんどんその機会を増やしてもらってはどうかと感じました。

〈保護者への発信〉

もっと保護者に子どもの様子がわかるように・・・という言葉がありましたが、ぜひ実現させて下さい。保育園から持ち上がったためより強く感じるのだと思いますが、幼稚園での日々の子どもの様子はあまりわかりませんでした。HP も「長、中、少」ではなく、クラスごとに UP したり、もっと日常的な様子をたくさん、毎日のように掲載してもらいたかったです。イベントに限らず、もっと日常的な様子をたくさん、毎日のように掲載してもらいたかったです。担任の先生やフリーの先生はお忙しいと

と思いますが、園の人的には写真を撮れる方がいらっしゃるよう見受けられますので、ぜひ園全体で調整を検討していただきたいです。

〈食材について〉

毎年気になっていたのですが、焼き芋の時、子どもにさつまいもを持たせても、持たせたものが口に入るわけではないので、一体どこの産地のものを食べたのだろうかと不安です。家庭により食材が違ふと思いますので、できれば安全なものを園で準備していただきたいです。

◎ゆり組

目標や計画を達成するために先生方は細かな部分まで考え、企画し取り組んでくださっているのだと知り感心しました。本当に子ども達のことをよく見て下さっているのだと思いました。本年度の「子ども、主体の保育」については参観時に先生が「子どもたちで決めた」と教えて下さったり園長先生のお話で聞かれたり保護者としても目標が明確に分かりそれを踏まえた上で子どもと話をすることもできました。園内の環境整備については子どもがよく見ていたり季節の行事についての理解があり親として驚くこともありました。環境に加え先生方が分かりやすく子どもに伝えてくれたことで理解が進んだのだと思います。また絵本などですぐに調べられる環境作りは今後の勉強の基盤にもなるためとてもすばらしい取り組みだと思います。異年齢交流についても近年の少子化により兄弟が少なくそこから得られる社会経験の不足を補える取り組みだと思います。子ども同士で得られる事の方が早い時もあり、生活面でのたてわりも期待したいです。スポーツに力を入れている小松幼稚園らしくたてわり競技もおもしろそうです。今後の小松幼稚園の発展に期待しております。

◎つき組

「子ども主体の保育」という目標に、行事や製作など先生方が取り組みされている様子がとても感じられました。上の子の時はしっかりしている子や目立つ(?)子が中心な部分があるように感じてしまう事がありましたが、1つ1つに1人ひとりが、生き生きと主役になれていると感じた1年でした。言葉1つをとっても、子ども達と話し合い、考えて、たくさん子どもたちの意見も聞いてくださったのだなと思いました。異年齢交流もたくさんの年下の組の子の名前をきいた1年でした。(親は、その子が誰かはわかりませんが)

◎つき組

- ・赤い線をひいた所は共感や、良い案だなと思った所です。
- ・小松幼稚園の自由でのびのびとした教育方針が好きで入園させたので、2項目の落ち着いた環境というのは仕方ないのかなと感じます。
- ・身体をたくさん動かしてもらったり、野菜を育てたり、それをその日に給食で食べさせてもらった

り、とても満足しています。

◎ほし組

- ・たてわりで、年中さん年少さんのお友達が増えたとうれしそうによく教えてくれるので子どもはとても喜んでいるのだなと感じました。
- ・コーナー遊びで毛糸を使った遊びを年長になってさせてもらえたことはすごく良かったです。自分が好きなコーナーへ行けるというのは、どこへ行こうか考える力もつくだろうし、どこで遊んだかを聞くことによって、子どもの好きなことが親もわかるのでよかったです。

◎きく組

子ども達の自主性、主体性を育てる保育を目標にされていることは、個人的には大変嬉しく思います。子ども個人で選択する機会を、これからも増やしてまたその逆に失敗した時から得る学び、共に大切なことと感じます。異年齢交流に関して、一年を通して、年少、年中、年長で「これをやりとげた！」みたいと思います。運動会や発表会などで、その成果を見れるときっと楽しいだろうなと思います。

◎すみれ組

- ・コーナー遊びは良かったと思います。とても楽しんで取り組んでいました。
- ・異年齢交流はとても良いと思うので、今後も機会を増やして行ってほしいです。今後の課題としてもたくさん意見が出ているので期待したいです。

◎すみれ組

- ・子どもの意見をよく聞いてもらい、劇発表やお部屋の飾りつけなど、とてもクラスの個性が出ていて見ていてとても良かったです。1つ1つの部屋には、個人の色も出ていて、友達同士でまねっこをしたり、比べてりしているところあとでも成長を感じさせられました。
- ・落ち着いた環境作りに対する評価がまだ十分でないとの意見が多いですが、限られた空間の中でとても上手にコーナー分けをしていたり、遊びのスペースを分けておられたので十分達成できると感じました。

◎もも組

- ・園の生活において、生活環境はすごく重要だと思うので、評価の結果において、成果がでてないと思われる人が多く、体を使って遊んだりする事は、環境作りはできていると思いますが、絵本を読んだり・落ち着いて過ごせる場所作りができてないと思われる方が多いので、その環境を整えていけるようにしてほしいと思いました。

・いろいろな学年との交流も子ども達の心の成長につながるので、もっともっと増やしていただきたいと思いました。

◎ばら組

園の中のことは正直あまりわかってない部分も多いですが、子どもの様子や生活態度からおおむね良い印象でした。先生方の評価をみて次への課題を厳しくみている方が多く正直おどろきました。具体的な課題もあるようなので、試行錯誤して子ども達に楽しくすごせるようにして頂ければと思います。

◎ばら組

子どもが主体的に遊びや学びなどに取り組める保育を目指して、たくさんの考えや具体的な方法を実践していただいているのだなと感じました。（個人的に家庭で子どもと園の話をする時に、今日どうだった？と聞いていても子どもはうまく言葉で説明しにくいので、曜日ごとの1日の具体的な保育の流れを時々、お便りなどで知る事が出来たらよりありがたいなと思います。

◎さくら組

・今年度は行事だけでなく、様々な活動が子ども達の意見を尊重したものであったと思います。目標を高く持つ事は大事かと思いますが、全ての子ども達が積極性をもって過ごせる環境が良いと思うので、評価としては十分に達成されていたのではないかと思います。

・各部屋の掲示などは、自然の物を取り入れて季節感を味わう事ができていたり、自由な発想で思い思いに作品を仕上げ飾っていたりしたのでとても良かったと思います。

◎さくら組

クッキング等で昨年よりたてわりでの活動が増えたように思い良かった。

子ども達に考えさせる、選ばせる保育ができているようで自分自身で決断する能力が身につくのでこれからもそのような保育を取り入れてもらいたい。

◎もみじ組

入園当初は、給食を食べるまでの流れを年長さんに教えてもらったりして交流があったと思いますが、それ以降は年長と年少の活動が少なかったように思います。

子どもにとっても、お兄ちゃん・お姉ちゃんのようになりたいという憧れのようなものがなかったように思います。

◎もみじ組

- ・先生方の色々な想いと工夫が日々の保育に活かされているんだなと思いました。感謝です！
- ・個人的には「環境作り」は目に見えるものなので楽しませていただきました。
- ・壁面はもちろん上からつるしてあるものもあって工夫がされているなあと感じました。